

## 研究協力のお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

医学部 一般・消化器外科学教室

総合医学研究センター トランスレーショナルリサーチ部門

薬学部 病態分子薬理学研究室

### 記

研究の名称	非閉塞性腸管虚血の治療に活用可能な血管拡張薬の探索
対象	2022 年 8 月 1 日から 2027 年 7 月 31 日までの期間に下部消化管の外科手術を受けられ、バイオバンク包括同意をくださった患者さんの残余検体を研究に利用いたします。本学では、35 例を予定しています。なお、バイオバンクとは、患者さんからご提供いただいた試料（血液や組織など）や情報（診療情報など）を収集管理し、医学研究に活用する仕組みのことをいいます。また、包括同意とは、そのような試料・情報を利用することに対して、あらかじめご同意いただくことです。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：単離した血管に対する種々薬物の反応性を評価することにより、それら各薬物の血管拡張薬としての有用性を調べることを目的としています。今回の研究結果により、今後、非閉塞性腸管虚血（下部消化管に分布する血管が閉塞する病気）の患者さんの治療に役立つことが期待されます。  利用方法：手術時に切除した患者さんの臓器に分布する血管を研究に利用させて

	<p>いただきます。患者さんの情報は当院の診療記録から収集し、抽出した診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される予定です。本研究は通常の診療を超える医療行為を伴わない研究ですので、参加することによる直接的な利益や不利益はありません。また、本研究へ参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。</p> <p>対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手や閲覧できますので、ご希望される際は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。</p>
<p><b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b></p>	<p>試料： 血管</p> <p>情報： 診療情報などを利用</p>
<p><b>研究者名</b></p> <p>【研究責任者】</p> <p>大阪医科薬科大学 薬学部 病態分子薬理学研究室      准教授      田和 正志</p>	
<p><b>参加拒否の申し出について</b></p> <p>ご自身の試料（血管）や情報（診療情報など）を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<p><b>&lt;問い合わせ窓口&gt;</b></p> <p>【研究機関】</p> <p>〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4丁目20番1号</p>	

大阪医科薬科大学 薬学部 病態分子薬理学研究室

担当者 田和 正志

連絡先 072-690-1050

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長

大阪医科薬科大学病院 病院長

担当者 田和 正志 殿

課題名	非閉塞性腸管虚血の治療に活用可能な血管拡張薬の探索
-----	---------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者

住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）